

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道3号 熊本北バイパス
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	費用便益比(全事業B/C)=3.9 (経済的純現在価値(B-C)=3,037億円、経済的内部収益率(EIRR)=12.6%) 費用便益比(残事業B/C)=5.1 (経済的純現在価値(B-C)=653億円、経済的内部収益率(EIRR)=41.4%)
	事業実施環境	■ ルート確定済	(都市計画決定：昭和50年3月)
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	期成会：熊本北バイパス建設促進期成会(会長：合志市長) 毎年1回の総会開催 協力体制：合志市企画課及び都市計画課、熊本市都市計画課及び道路総務課

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	費用便益分析対象エリア(熊本市、植木町、合志市、菊陽町の影響範囲) 渋滞損失時間(H17現況)：740万人・時間/年 渋滞損失削減時間：64万人・時間/年(740万人・時間/年⇒676万人・時間/年)
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	(対象区間)一般国道3号熊本市草場町区間、(現状速度)：H17年混雑時旅行速度9.8km/h
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上り踏切の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	一般国道3号熊本市草場町を経路とする路線バスの走行性向上が期待される (運行388台/日)
		□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		□ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	(計画名)：熊本環状道路、(計画策定主体)：国土交通省・熊本県、(計画における位置づけ等)：地域高規格道路整備区間指定
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	熊本市北部町地区及び合志市須屋地区における都市計画道路網密度が高まる。
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	(路線指定等)：熊本環状道路(熊本東環状道路)
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される			
<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である			
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	(対象となる三次医療施設名称)：熊本赤十字病院 (アクセス向上が見込まれる自治体名(地区名))：植木町 (32分→25分：7分短縮) (以北の鹿北地域、以東の玉名地域も効果あり)	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：14,000t-CO2/年（748,000t-CO2/年⇒734,000t-CO2/年）
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNOx排出削減率	（現況）自動車NOx・SPM法対策地域指定の別：指定なし NO2について環境基準を達成している測定局数の実績： （推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（事業区間沿線の熊本市、植木町、合志市、菊陽町の影響路線） 排出削減量：95t/年 排出削減率：3%削減 （バイパス事業の場合） バイパス等についてNOx排出増加量：55.7t/年 NO2について環境基準を達成が見込まれる測定局数（推計を行っている場合）：推計なし
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（現況）自動車NOx・SPM法対策地域指定の別：指定なし NO2について環境基準を達成している測定局数の実績： （推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（事業区間沿線の熊本市、植木町、合志市、菊陽町の影響路線） 排出削減量：9t/年 排出削減率：3.2%削減 （バイパス事業の場合） バイパス等についてSPM排出増加量：5.4t/年 SPMについて最寄りの一般局と差があり、かつ環境基準を超過している自排局または常観局のうち道路寄与分の半減が見込まれる測定局数（推計を行っている場合）：推計なし
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	一般国道3号の熊本市大塚4丁目～熊本市近見町の間で8箇所中6箇所が夜間要請限度を超えており、交通の分散化により騒音低下が期待される
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道３号	熊本北バイパス	L= 7.6 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
41,600	4/4	九州地方整備局

① 費用

	改 築 費	維持修繕費	合 計
基 準 年	平成18年		
単純合計	782億円	55億円	837億円
うち残事業分	184億円	33億円	217億円
基準年における 現在価値 (C)	1,002億円	39億円	1,042億円
うち残事業分	144億円	15億円	159億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成18年			
供用年	平成4年			
単年便益 (初年便益)	13億円	1億円	0億円	14億円
基準年における 現在価値 (B)	3,679億円	287億円	112億円	4,079億円
うち残事業分	655億円	98億円	58億円	812億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	3.9
費用便益比 (残事業)	5.1

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：熊本北バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①国道3号 [熊本北バイパス] : 7.6km	交通量	[台/日]	0	40,900	
	走行時間	[分]	0	10	
	走行時間費用	[億円/年]	0	104	
②主な周辺道路	国道3号等 : 18.5km	交通量	[台/日]	30,200	26,400
		走行時間	[分]	49	39
		走行時間費用	[億円/年]	314	245
	国道57号等 : 31.1km	交通量	[台/日]	41,800	39,100
		走行時間	[分]	56	50
		走行時間費用	[億円/年]	521	454
	主)熊本大津線等 : 16.1km	交通量	[台/日]	15,100	11,200
		走行時間	[分]	41	35
		走行時間費用	[億円/年]	145	95
	主)熊本原坂線等 : 14.2km	交通量	[台/日]	26,000	22,700
		走行時間	[分]	28	26
		走行時間費用	[億円/年]	184	151
③その他道路合計 : 12767.9km	走行時間費用	[億円/年]	5218	5152	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：12855.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6383	6203	180

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：熊本北バイパス（事業全体）



交通状況の変化

事業名：熊本北バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①国道3号 [熊本北バイパス] : 7.6km	交通量	[台/日]	15,600	40,900	
	走行時間	[分]	5	10	
	走行時間費用	[億円/年]	37	104	
②主な周辺道路	国道3号等 : 18.5km	交通量	[台/日]	28,900	26,400
		走行時間	[分]	41	39
		走行時間費用	[億円/年]	274	245
	国道57号等 : 31.1km	交通量	[台/日]	40,300	39,100
		走行時間	[分]	51	50
		走行時間費用	[億円/年]	480	454
	主)熊本大津線等 : 16.1km	交通量	[台/日]	13,800	11,200
		走行時間	[分]	38	35
		走行時間費用	[億円/年]	125	95
	主)熊本原坂線等 : 14.2km	交通量	[台/日]	24,300	22,700
		走行時間	[分]	27	26
		走行時間費用	[億円/年]	168	151
③その他道路合計 : 12767.9km	走行時間費用	[億円/年]	5157	5152	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：12855.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6241	6203	38

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：熊本北バイパス（残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道3号熊本北バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益分析においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道3号熊本北バイパス【全事業】

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	7.6	2.05

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-18年目	S 49	3.5081	0	1		
-17年目	S 50	3.3731	0	1		
-16年目	S 51	3.2434	3	8		
-15年目	S 52	3.1187	3	10		
-14年目	S 53	2.9987	0	0		
-13年目	S 54	2.8834	0	0		
-12年目	S 55	2.7725	0	0		
-11年目	S 56	2.6658	2	4		
-10年目	S 57	2.5633	4	11		
-9年目	S 58	2.4647	10	24		
-8年目	S 59	2.3699	13	32		
-7年目	S 60	2.2788	9	20		
-6年目	S 61	2.1911	12	26		
-5年目	S 62	2.1068	20	42		
-4年目	S 63	2.0258	19	39		
-3年目	H 1	1.9479	24	46		
-2年目	H 2	1.8730	27	51		
-1年目	H 3	1.8009	29	52		
供用開始年次	H 4	1.7317	34	59	0	0
1年目	H 5	1.6651	29	49	0	0
2年目	H 6	1.6010	28	45	0	0
3年目	H 7	1.5395	40	62	0	0
4年目	H 8	1.4802	28	41	0	0
5年目	H 9	1.4233	15	22	0	0
6年目	H 10	1.3686	43	58	0	0
7年目	H 11	1.3159	36	47	1	1
8年目	H 12	1.2653	30	38	1	1
9年目	H 13	1.2167	18	22	1	1
10年目	H 14	1.1699	36	43	1	1
11年目	H 15	1.1249	20	22	1	1
12年目	H 16	1.0816	15	16	1	1
13年目	H 17	1.0400	27	28	1	1
14年目	H 18	1.0000	23	23	1	1
15年目	H 19	0.9615	42	40	1	1
16年目	H 20	0.9246	24	23	1	1
17年目	H 21	0.8890	24	22	1	1
18年目	H 22	0.8548	24	21	1	1
19年目	H 23	0.8219	24	20	1	1
20年目	H 24	0.7903			2	2
21年目	H 25	0.7599			2	1
22年目	H 26	0.7307			2	1
23年目	H 27	0.7026			2	1
24年目	H 28	0.6756			2	1
25年目	H 29	0.6496			2	1
26年目	H 30	0.6246	11	7	2	1
27年目	H 31	0.6006	11	7	2	1
28年目	H 32	0.5775	11	6	2	1
29年目	H 33	0.5553	11	6	2	1
30年目	H 34	0.5339			2	1
31年目	H 35	0.5134			2	1
32年目	H 36	0.4936			2	1
33年目	H 37	0.4746			2	1
34年目	H 38	0.4564			2	1
35年目	H 39	0.4388			2	1
36年目	H 40	0.4220			2	1
37年目	H 41	0.4057			2	1
38年目	H 42	0.3901			2	1
39年目	H 43	0.3751	-249	-93	2	1
合計			533	1,002	55	39
単純事業費計			782		55	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)

箇所名:一般国道3号熊本北バイパス【残事業】

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	3.4	0.92

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-1年目	H 19	0.9615	42	40		
供用開始年次	H 20	0.9246	24	23	0	0
1年目	H 21	0.8890	24	22	0	0
2年目	H 22	0.8548	24	21	0	0
3年目	H 23	0.8219	24	20	0	0
4年目	H 24	0.7903			1	1
5年目	H 25	0.7599			1	1
6年目	H 26	0.7307			1	1
7年目	H 27	0.7026			1	1
8年目	H 28	0.6756			1	1
9年目	H 29	0.6496			1	1
10年目	H 30	0.6246	11	7	1	1
11年目	H 31	0.6006	11	7	1	1
12年目	H 32	0.5775	11	6	1	1
13年目	H 33	0.5553	11	6	1	0
14年目	H 34	0.5339			1	0
15年目	H 35	0.5134			1	0
16年目	H 36	0.4936			1	0
17年目	H 37	0.4746			1	0
18年目	H 38	0.4564			1	0
19年目	H 39	0.4388			1	0
20年目	H 40	0.4220			1	0
21年目	H 41	0.4057			1	0
22年目	H 42	0.3901			1	0
23年目	H 43	0.3751			1	0
24年目	H 44	0.3607			1	0
25年目	H 45	0.3468			1	0
26年目	H 46	0.3335			1	0
27年目	H 47	0.3207			1	0
28年目	H 48	0.3083			1	0
29年目	H 49	0.2965			1	0
30年目	H 50	0.2851			1	0
31年目	H 51	0.2741			1	0
32年目	H 52	0.2636			1	0
33年目	H 53	0.2534			1	0
34年目	H 54	0.2437			1	0
35年目	H 55	0.2343			1	0
36年目	H 56	0.2253			1	0
37年目	H 57	0.2166			1	0
38年目	H 58	0.2083			1	0
39年目	H 59	0.2003	-37	-7	1	0
合計			147	144	33	15
単純事業費計			184	33		

- 注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。
- 注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道3号熊本北バイパス【全事業】

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (南九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 4	1.01285	0.99647	1.00664	1.7317	4	0	2	2	8	13	0	0	0	0	1	1	0	0	8	14
1年目	H 5	1.01269	0.99645	1.00660	1.6651	4	0	2	2	8	13	0	0	0	0	1	1	0	0	8	14
2年目	H 6	1.01253	0.99644	1.00655	1.6010	4	0	2	2	8	12	0	0	0	0	1	1	0	0	8	13
3年目	H 7	1.01237	0.99643	1.00651	1.5395	4	1	2	1	8	12	0	0	0	0	1	1	0	0	8	13
4年目	H 8	1.01222	0.99642	1.00647	1.4802	4	1	2	1	8	11	0	0	0	0	1	1	0	0	8	12
5年目	H 9	1.01208	0.99640	1.00643	1.4233	4	1	2	1	8	11	0	0	0	0	1	1	0	0	8	12
6年目	H 10	1.01193	0.99639	1.00639	1.3686	4	1	2	1	8	11	0	0	0	0	1	1	0	0	8	12
7年目	H 11	1.01179	0.99638	1.00635	1.3159	53	8	28	19	108	142	3	0	3	2	8	11	2	3	119	156
8年目	H 12	1.01165	0.99636	1.00631	1.2653	53	8	28	19	108	137	3	0	3	2	8	11	2	3	119	151
9年目	H 13	1.01152	0.99635	1.00627	1.2167	54	8	28	19	109	133	3	0	3	2	8	10	3	3	120	146
10年目	H 14	1.01139	0.99634	1.00623	1.1699	54	8	28	19	109	128	3	0	3	2	8	10	3	3	120	141
11年目	H 15	1.01126	0.99632	1.00619	1.1249	55	8	28	19	110	124	3	0	3	2	8	9	3	3	121	136
12年目	H 16	1.01113	0.99631	1.00615	1.0816	61	9	30	21	121	130	3	0	3	2	9	9	3	3	132	143
13年目	H 17	1.01101	0.99630	1.00611	1.0400	61	9	30	21	121	126	3	0	3	2	9	9	3	3	133	138
14年目	H 18	1.01089	0.99628	1.00608	1.0000	62	9	30	21	122	122	3	0	3	2	9	9	3	3	133	133
15年目	H 19	1.01077	0.99627	1.00604	0.9615	63	9	30	20	122	118	3	0	3	2	9	8	3	3	134	129
16年目	H 20	1.01066	0.99625	1.00600	0.9246	78	12	37	25	152	140	4	0	4	3	12	11	5	4	168	155
17年目	H 21	1.01055	0.99624	1.00597	0.8890	79	12	37	25	152	135	5	0	4	3	12	10	5	4	169	150
18年目	H 22	1.01043	0.99623	1.00594	0.8548	80	12	36	25	153	131	5	0	4	3	12	10	5	4	169	145
19年目	H 23	1.01032	0.99622	1.00591	0.8219	80	12	36	25	153	126	5	0	4	3	12	10	5	4	170	140
20年目	H 24	1.01021	0.99621	1.00588	0.7903	85	13	38	26	162	128	5	1	4	3	14	11	6	5	181	143
21年目	H 25	1.01010	0.99620	1.00585	0.7599	85	13	38	26	162	123	5	1	4	3	14	10	6	5	182	138
22年目	H 26	1.01000	0.99619	1.00582	0.7307	86	13	38	26	163	119	5	1	4	3	14	10	6	4	182	133
23年目	H 27	1.00990	0.99618	1.00579	0.7026	87	13	38	26	163	115	6	1	4	3	14	10	6	4	183	128
24年目	H 28	1.00980	0.99617	1.00576	0.6756	87	13	38	26	164	110	6	1	4	3	14	9	6	4	183	124
25年目	H 29	1.00970	0.99616	1.00573	0.6496	88	13	38	26	164	107	6	1	4	3	14	9	6	4	184	119
26年目	H 30	1.00960	0.99615	1.00570	0.6246	88	13	37	26	164	103	6	1	4	3	14	9	6	4	184	115
27年目	H 31	1.00950	0.99614	1.00567	0.6006	89	13	37	26	165	99	6	1	4	3	14	8	6	4	185	111
28年目	H 32	1.00940	0.99613	1.00564	0.5775	89	13	37	25	165	96	6	1	4	3	14	8	6	4	185	107
29年目	H 33	1.00930	0.99612	1.00561	0.5553	89	13	37	25	165	92	6	1	4	3	14	8	6	3	185	103
30年目	H 34	1.00920	0.99611	1.00558	0.5339	98	15	41	28	182	97	6	1	4	3	14	7	6	3	202	108
31年目	H 35	1.00910	0.99610	1.00555	0.5134	98	15	41	28	181	93	6	1	4	3	14	7	6	3	202	104
32年目	H 36	1.00900	0.99609	1.00552	0.4936	98	15	40	28	181	89	6	1	4	3	14	7	6	3	201	99
33年目	H 37	1.00890	0.99608	1.00549	0.4746	99	15	40	27	181	86	6	1	4	3	14	7	6	3	201	95
34年目	H 38	1.00880	0.99607	1.00546	0.4564	99	15	40	27	181	83	6	1	4	3	14	6	6	3	201	92
35年目	H 39	1.00870	0.99606	1.00543	0.4388	99	15	40	27	181	79	6	1	4	3	14	6	6	3	201	88
36年目	H 40	1.00860	0.99605	1.00540	0.4220	99	15	40	27	180	76	6	1	4	3	14	6	6	3	200	85
37年目	H 41	1.00850	0.99604	1.00537	0.4057	99	15	39	27	180	73	6	1	4	3	14	6	6	2	200	81
38年目	H 42	1.00840	0.99603	1.00534	0.3901	99	15	39	27	180	70	6	1	4	3	14	5	6	2	200	78
39年目	H 43	1.00830	0.99602	1.00531	0.3751	99	15	39	27	179	67	6	1	4	3	14	5	6	2	199	75
合計(H4~H43)						2,717	409	1,196	817	5,138	3,679	162	16	123	102	403	287	165	112	5,706	4,079

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道3号熊本北バイパス【残事業】

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (南九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)				事故減少便益(億円)		合計 (億円)			
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	費用合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 20	1.01066	0.99625	1.00600	0.9246	15	2	7	5	29	27	1	0	1	1	4	3	2	2	35	32
1年目	H 21	1.01055	0.99624	1.00597	0.8890	15	2	7	5	29	26	1	0	1	1	4	3	2	2	35	31
2年目	H 22	1.00636	0.99764	1.00360	0.8548	15	2	7	5	29	25	1	0	1	1	4	3	2	2	35	30
3年目	H 23	1.00632	0.99763	1.00358	0.8219	15	2	7	5	29	24	1	0	1	1	4	3	2	2	35	29
4年目	H 24	1.00628	0.99763	1.00357	0.7903	17	3	8	5	33	26	2	0	2	1	6	4	3	3	42	33
5年目	H 25	1.00624	0.99762	1.00356	0.7599	17	3	8	5	33	25	2	0	2	1	6	4	3	2	42	32
6年目	H 26	1.00621	0.99762	1.00355	0.7307	18	3	8	5	33	24	2	0	2	1	6	4	3	2	42	31
7年目	H 27	1.00617	0.99761	1.00353	0.7026	18	3	8	5	33	23	2	0	2	1	6	4	3	2	42	30
8年目	H 28	1.00613	0.99761	1.00352	0.6756	18	3	8	5	33	23	2	0	2	1	6	4	3	2	42	28
9年目	H 29	1.00609	0.99760	1.00351	0.6496	18	3	8	5	33	22	2	0	2	1	6	4	3	2	42	27
10年目	H 30	1.00605	0.99759	1.00350	0.6246	18	3	8	5	34	21	2	0	2	1	6	4	3	2	42	27
11年目	H 31	1.00602	0.99759	1.00348	0.6006	18	3	8	5	34	20	2	0	2	1	6	3	3	2	43	26
12年目	H 32	1.00067	0.99559	0.99916	0.5775	18	3	8	5	34	19	2	0	2	1	6	3	3	2	43	25
13年目	H 33	1.00067	0.99557	0.99915	0.5553	18	3	8	5	34	19	2	0	2	1	6	3	3	2	43	24
14年目	H 34	1.00067	0.99555	0.99915	0.5339	21	3	9	6	38	21	2	0	2	1	6	3	3	2	47	25
15年目	H 35	1.00067	0.99553	0.99915	0.5134	21	3	9	6	38	20	2	0	2	1	6	3	3	2	47	24
16年目	H 36	1.00067	0.99551	0.99915	0.4936	21	3	9	6	38	19	2	0	2	1	6	3	3	2	47	23
17年目	H 37	1.00067	0.99549	0.99915	0.4746	21	3	8	6	38	18	2	0	2	1	6	3	3	2	47	22
18年目	H 38	1.00067	0.99547	0.99915	0.4564	21	3	8	6	38	17	2	0	2	1	6	3	3	2	47	21
19年目	H 39	1.00067	0.99545	0.99915	0.4388	21	3	8	6	38	17	2	0	2	1	6	2	3	1	47	21
20年目	H 40	1.00067	0.99543	0.99915	0.4220	21	3	8	6	38	16	2	0	2	1	6	2	3	1	47	20
21年目	H 41	1.00067	0.99541	0.99915	0.4057	21	3	8	6	38	15	2	0	2	1	6	2	3	1	47	19
22年目	H 42	0.99688	0.99458	0.99622	0.3901	21	3	8	6	38	15	2	0	2	1	5	2	3	1	47	18
23年目	H 43	0.99687	0.99455	0.99621	0.3751	21	3	8	6	38	14	2	0	2	1	5	2	3	1	47	17
24年目	H 44	0.99686	0.99453	0.99619	0.3607	21	3	8	6	38	14	2	0	2	1	5	2	3	1	46	17
25年目	H 45	0.99685	0.99449	0.99618	0.3468	21	3	8	6	38	13	2	0	2	1	5	2	3	1	46	16
26年目	H 46	0.99684	0.99446	0.99616	0.3335	21	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	3	1	46	15
27年目	H 47	0.99683	0.99443	0.99615	0.3207	21	3	8	6	37	12	2	0	2	1	5	2	3	1	46	15
28年目	H 48	0.99682	0.99440	0.99613	0.3083	20	3	8	5	37	11	2	0	2	1	5	2	3	1	46	14
29年目	H 49	0.99681	0.99437	0.99612	0.2965	20	3	8	5	37	11	2	0	2	1	5	2	3	1	45	13
30年目	H 50	0.99680	0.99434	0.99610	0.2851	20	3	8	5	37	10	2	0	2	1	5	2	3	1	45	13
31年目	H 51	0.99679	0.99431	0.99609	0.2741	20	3	8	5	37	10	2	0	2	1	5	1	3	1	45	12
32年目	H 52	0.99590	0.99668	0.99612	0.2636	20	3	8	5	36	10	2	0	2	1	5	1	3	1	45	12
33年目	H 53	0.99588	0.99667	0.99610	0.2534	20	3	8	5	36	9	2	0	2	1	5	1	3	1	45	11
34年目	H 54	0.99587	0.99665	0.99609	0.2437	20	3	8	5	36	9	2	0	2	1	5	1	3	1	45	11
35年目	H 55	0.99585	0.99664	0.99607	0.2343	20	3	8	5	36	8	2	0	2	1	5	1	3	1	44	10
36年目	H 56	0.99583	0.99663	0.99606	0.2253	20	3	8	5	36	8	2	0	2	1	5	1	3	1	44	10
37年目	H 57	0.99581	0.99662	0.99604	0.2166	20	3	8	5	36	8	2	0	2	1	5	1	3	1	44	10
38年目	H 58	0.99580	0.99661	0.99603	0.2083	20	3	8	5	36	7	2	0	2	1	5	1	3	1	44	9
39年目	H 59	0.99578	0.99660	0.99601	0.2003	20	3	8	5	35	7	2	0	2	1	5	1	3	1	44	9
合計 (H20~H59)						770	116	315	215	1,416	655	82	12	67	50	210	98	126	58	1,752	812